

女袴講習テキスト

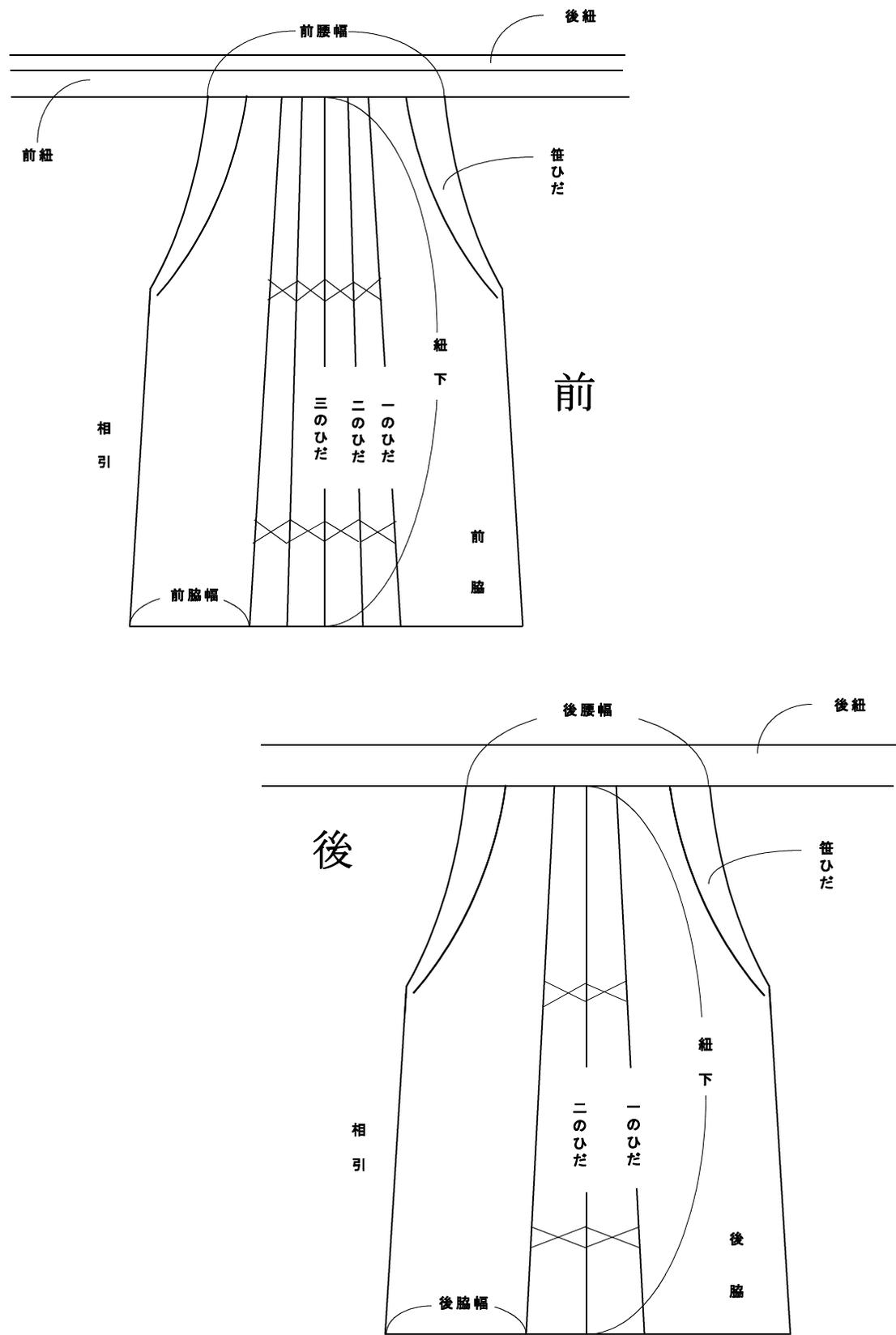
女 袴

女子の袴は、^{くれない}紅色の襷付長袴形式の紅袴（くれないのはかま、または緋袴ともいう）が、女房装束（晴装束・十二単）に着用されたが、さほど発達を見ないまま、小袖の全盛時代を迎え、ごく一部の宮廷人や神職にある女性が着用する程度で、一般には無縁のものになってしまった。現代の女^{おんな}袴は明治20年に皇室を中心とした華族の婦女服制についての皇后陛下の思^{おぼしめし}召書によって、古い制服をとり入れ、華族女学校の制服に採用されたことによって出来上がったものである。以後、民間の女学校においても制服として着用されるようになり、昭和初年にいたるまで女学生間に大流行した。これは海老茶、紫、紫紺、緑、紺および黒などのサージやカシミアなどを用布として仕立てる行燈形式のもので、ひだ数のほかにも、切り上げをつけないことや、前後を同じ丈にするなど、随所に男物行燈袴との違いがみられる。

年齢別標準寸法比較表

名	数え年齢	本 裁		4～5歳		6～7歳		8～9歳		12～13歳		
	満年齢			3歳		5歳		7歳		11歳		
称	身長	155,0cm		95,0cm		109,0cm		120,0cm		144,5cm		
	着丈	130,0cm(34,3)		76,0cm(20,0)		87,0cm(23,0)		96,0cm(25,3)		117,0cm(30,8)		
	寸法	cm	尺寸分	備考	cm	尺寸分	cm	尺寸分	cm	尺寸分	cm	尺寸分
紐 下		91,0	24,0	着丈×0, 7	53,2	14,0	61,0	16,1	67,2	17,7	82,0	21,6
相 引		63,5	16,8	紐下×2/3+3cm	35,5	9,3	43,0	11,3	47,7	12,6	57,5	15,2
後腰幅		30,3	8,0	長着後幅+1cm	23,0	6,0	24,7	6,5	26,5	7,0	27,7	7,3
前腰幅		32,2	8,5	後腰幅+2cm	24,7	6,5	26,4	7,0	28,4	7,5	30,3	8,0
前脇幅		19,0	5,0		15,2	4,0	15,9	4,2	16,7	4,4	17,4	4,6
後脇幅		23,0	6,0		19,0	5,0	20,0	5,3	20,5	5,4	21,5	5,6
笹ひだ	後	5,3	1,4		3,8	1,0	4,2	1,1	4,5	1,2	4,9	1,3
	前	4,5	1,2		3,4	0,9	3,8	1,0	3,8	1,0	4,2	1,1
前よせ	上	3,0	0,8		2,6	0,7	2,6	0,7	2,7	0,7	3,0	0,8
ひだ	下	5,7	1,5		4,5	1,2	4,0	1,3	5,3	1,4	5,7	1,5
後よせ	上	3,8	1,0		3,0	0,8	3,0	0,8	3,2	0,85	3,4	0,9
ひだ	下	7,6	2,0		5,7	1,5	6,4	1,7	6,8	1,8	7,2	1,9
紐 丈	前	360,0	95,0		260,0	68,6	280,0	74,0	290,0	76,5	310,0	82,0
	後	195,0~230,0	51,5~60,0		140,0	37,0	155,0	41,0	190,0	50,0	230,0	50,0
紐 幅	前	3,0~3,5	0,8~0,9		3,0	0,8	3,0	0,8	3,4	0,9	3,8	1,0
	後	6,0~8,0	1,5~2,1		4,5	1,2	5,0	1,3	5,3	1,4	5,7	1,5

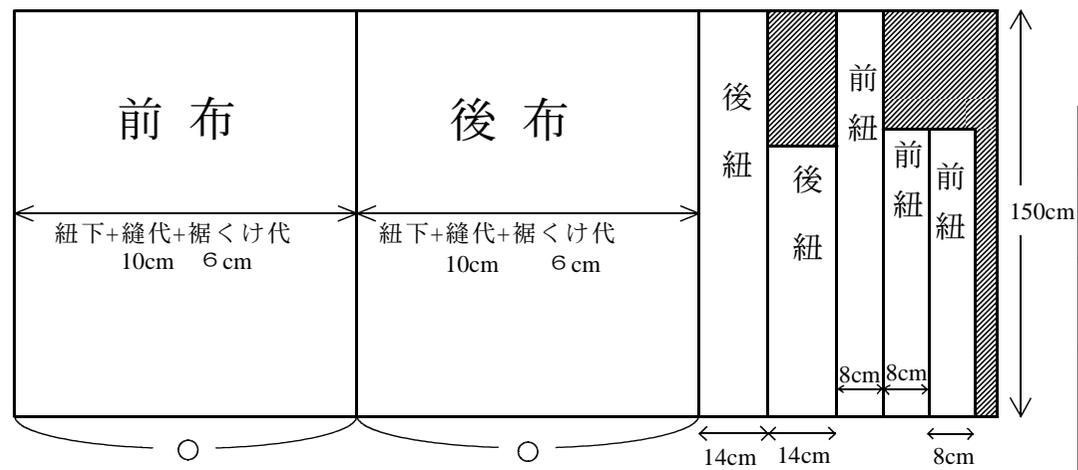
1、完成図と部分の名称



2、標準寸法の割り出し方

名称	寸法の割り出し方	標準寸法 (身長155cm)	備考
紐下	着丈×0,7 (身長×0,6)	93 cm	
相引	紐下× ² / ₃ +3 cm	65 cm (紐下より28 cm)	
後腰幅	長着後身幅+1 cm	30 cm	
前腰幅	後腰幅+2 cm	32 cm	
前脇幅	後腰幅× ³ / ₅ +1 cm	19 cm	
後脇幅	後腰幅× ³ / ₄	23 cm	
袷ひだ幅	後	5、5 cm	
	前	4、5 cm	
前寄ひだ	上	3 cm	
	下	6 cm	
後寄ひだ	上	4 cm	
	下	8 cm	
前紐	幅	3 cm	
	丈	胴回り×3+75 cm	340 cm~360 cm
後紐	幅	6~8 cm	
	丈	胴回り+160 cm	195 cm~230 cm 好みによる

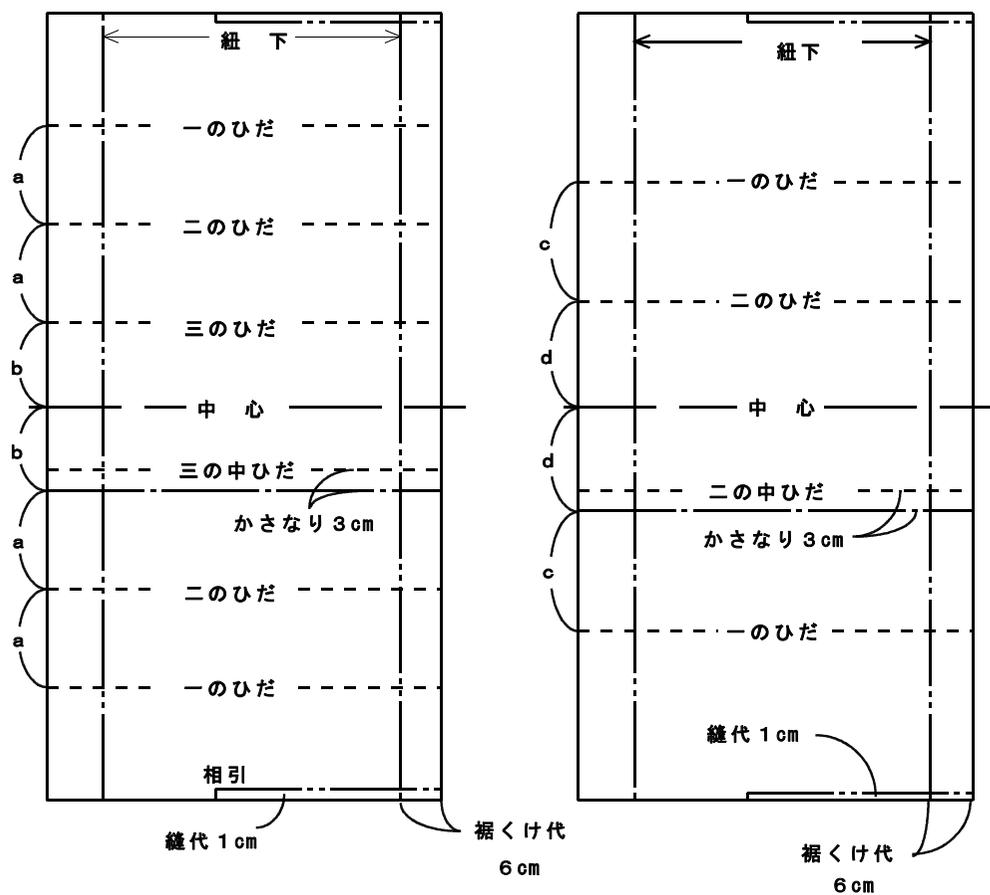
3. 裁ち方



5. ひだ折り 前、後共に標通り各ひだを外表にしっかり折る。 ※表から見た図です。

前

後

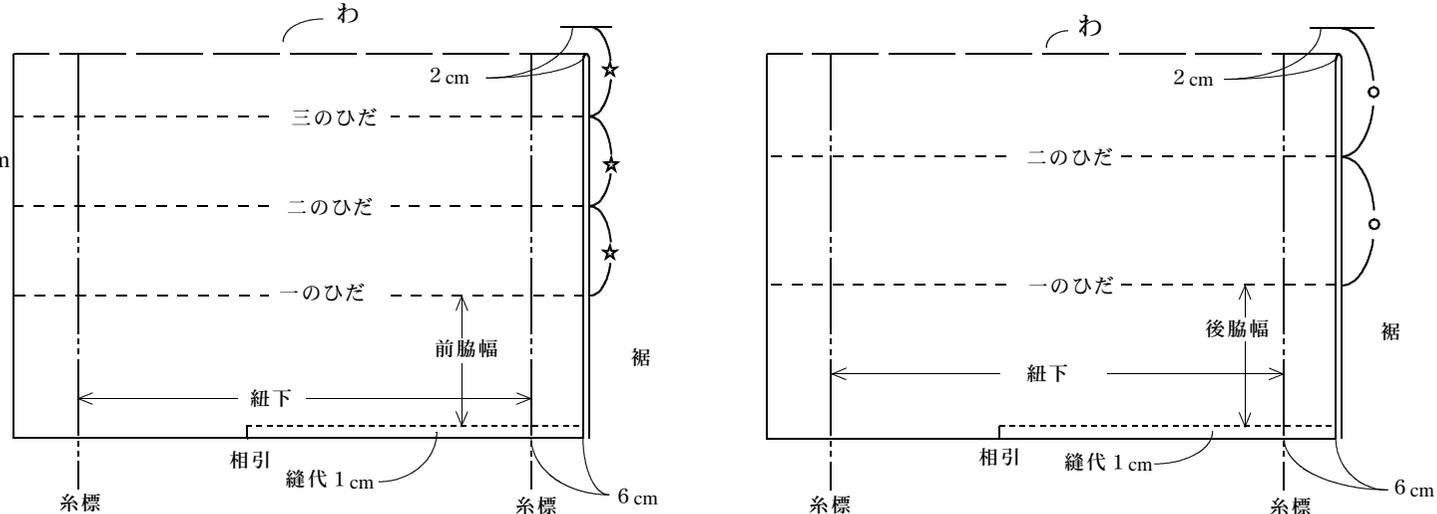


--- 外表に織る
—— 折らない

4. ひだ割り ひだ折りの位置

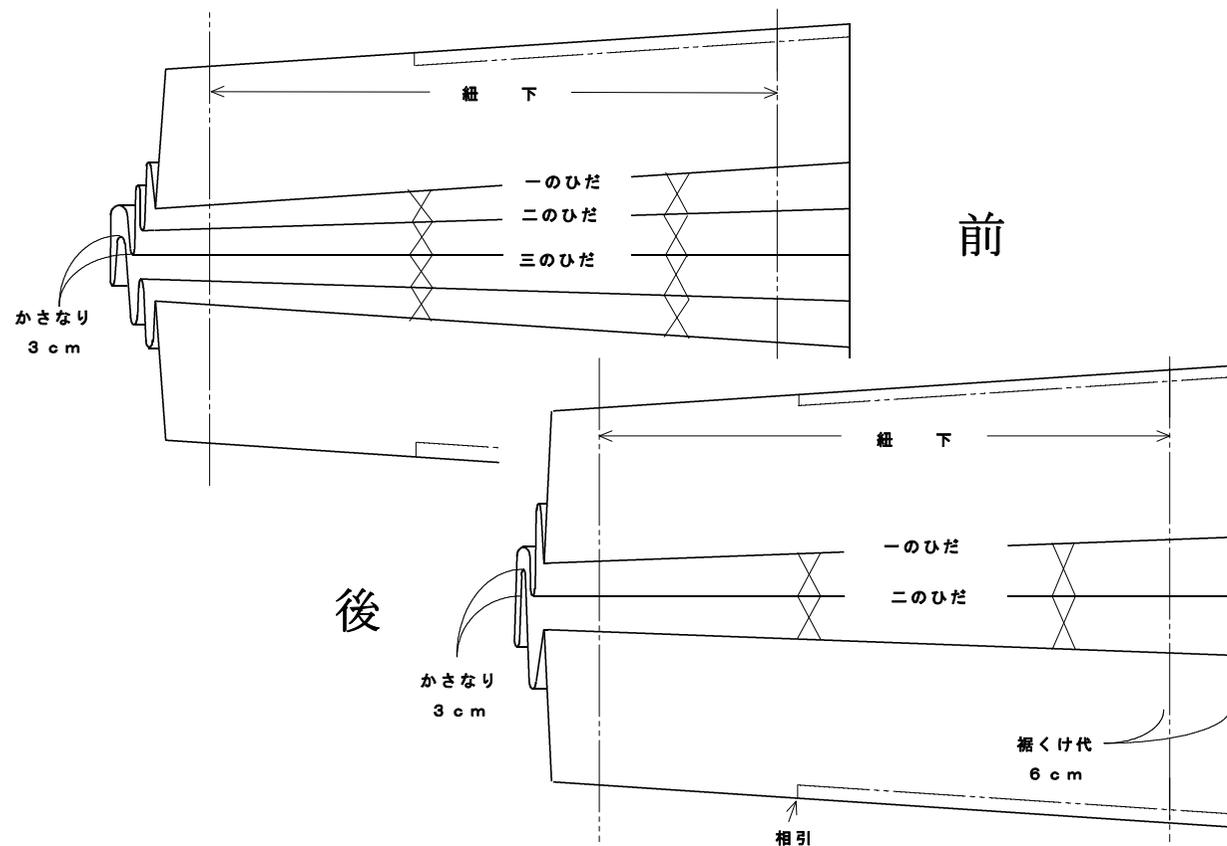
前身頃 (中表)

後身頃 (中表)



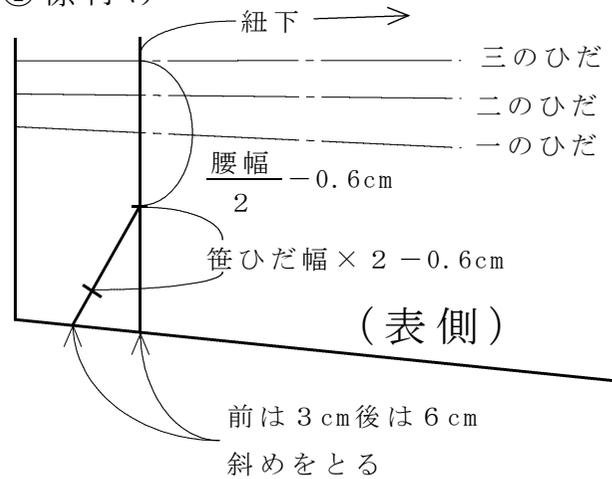
6. たたみつけ

前後別々に図の要領でたたみ、しっけで押さえる。
相引きを縫い合わせ、前身頃の方へ被折りをする。

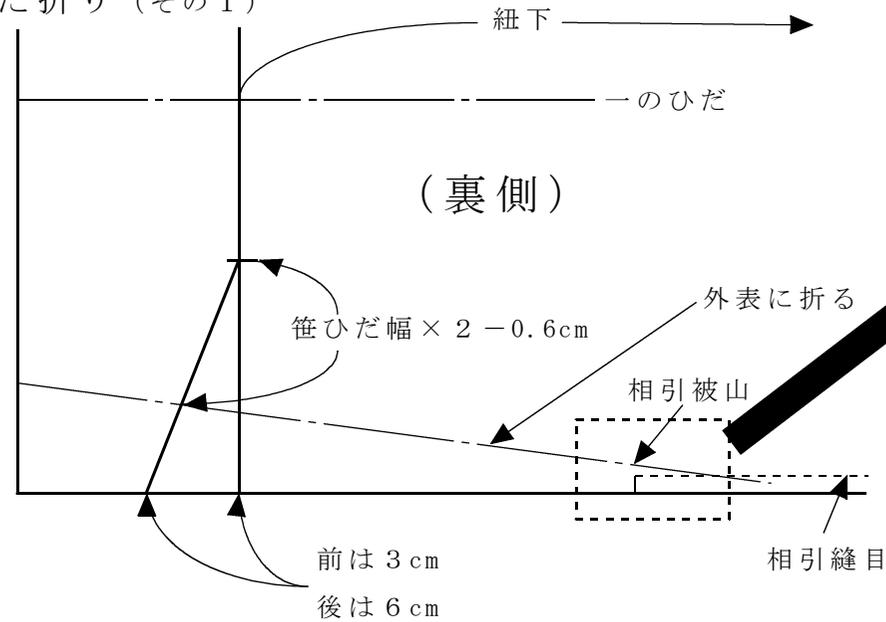


7、笹ひだ

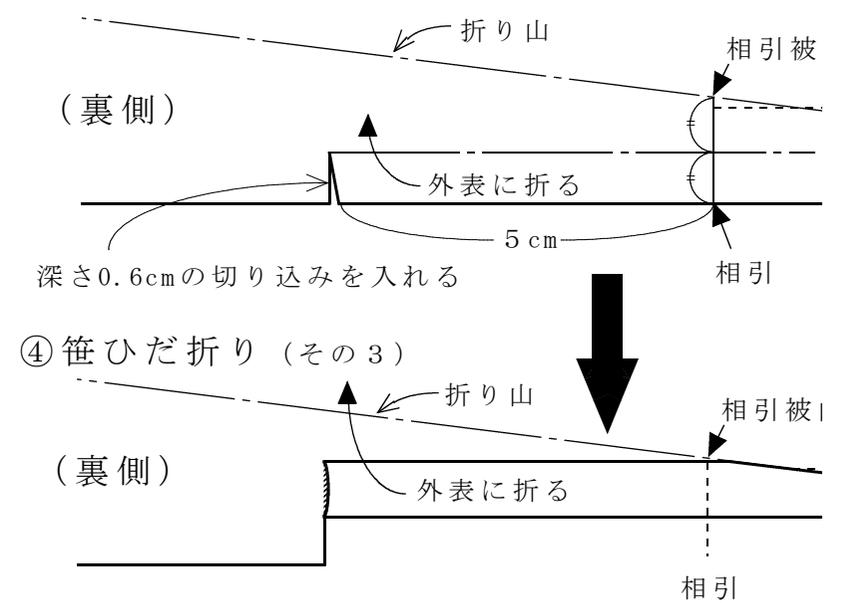
① 標付け



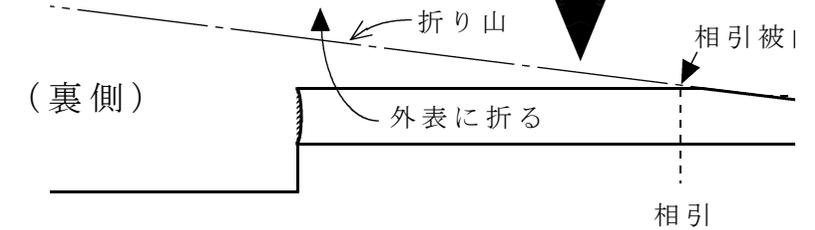
② 笹ひだ折り (その1)



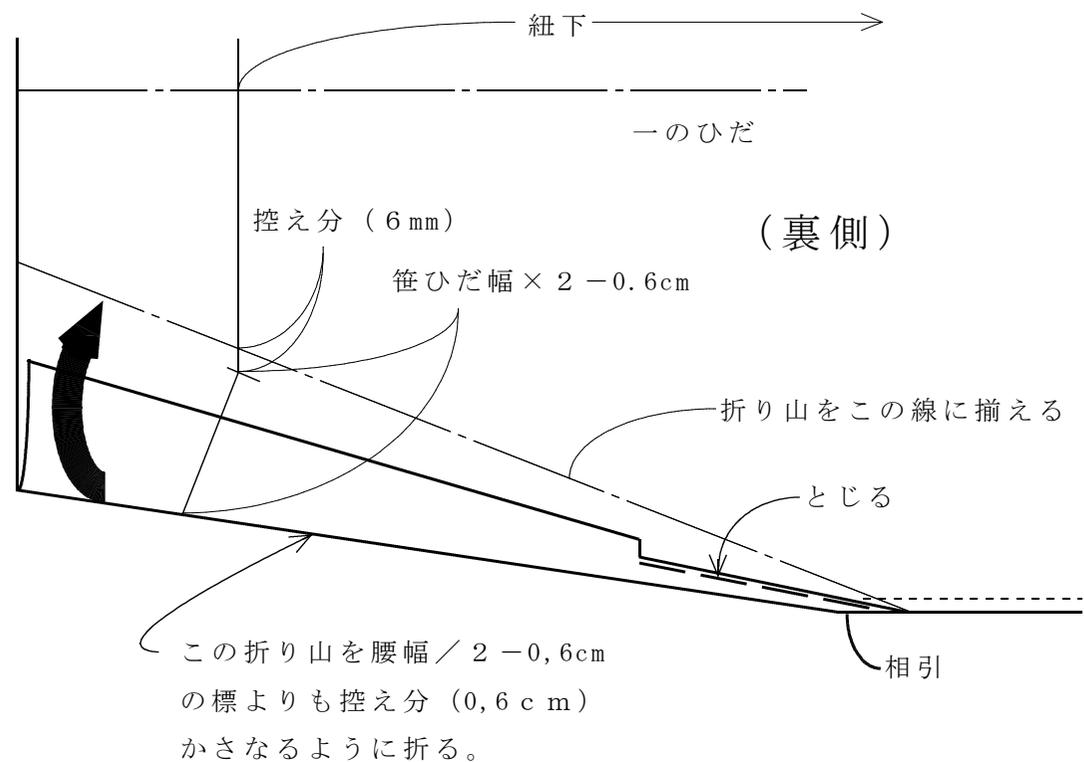
③ 笹ひだ折り (その2) 拡大図



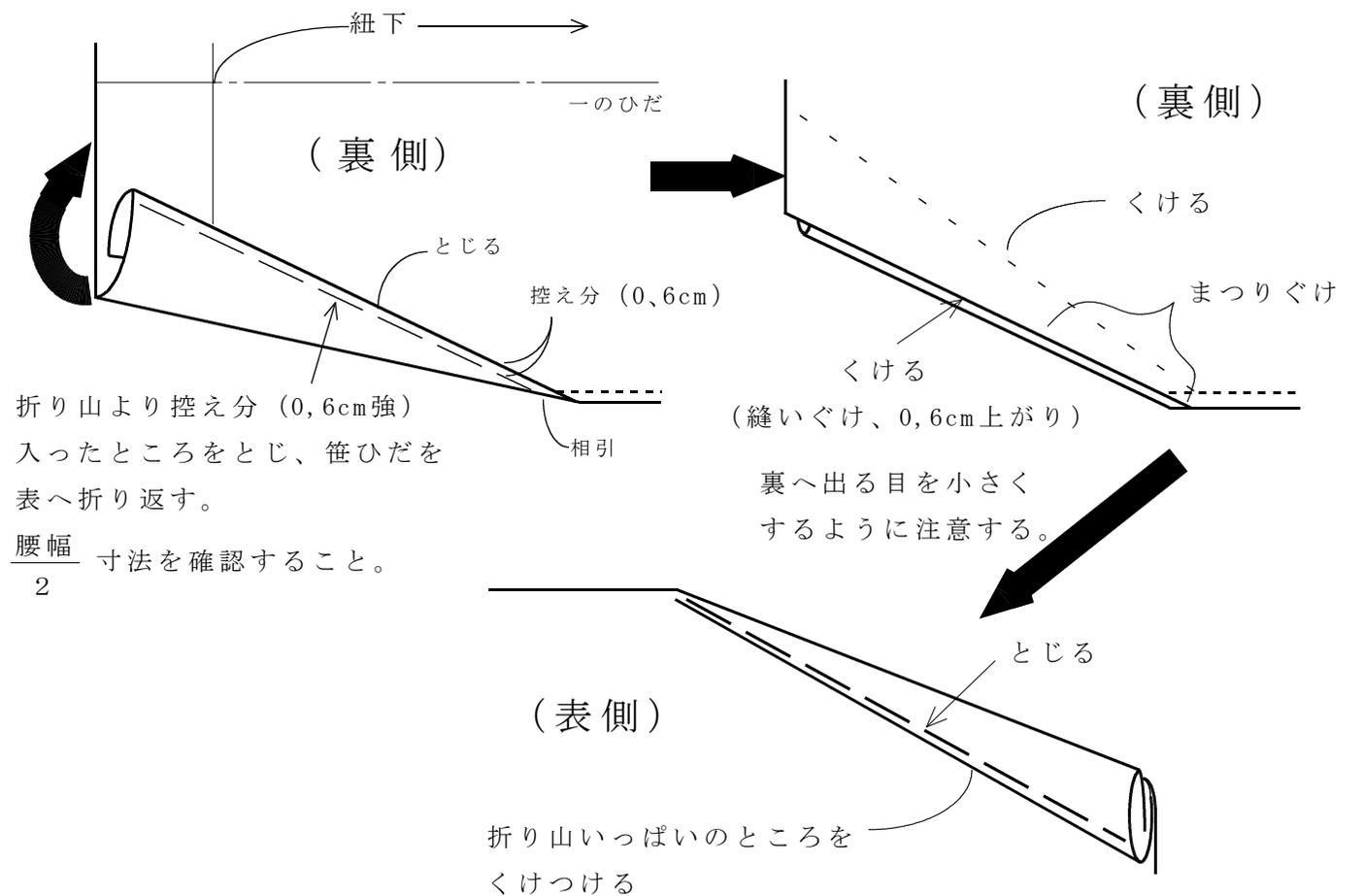
④ 笹ひだ折り (その3)



⑤ 笹ひだ折り (その4)

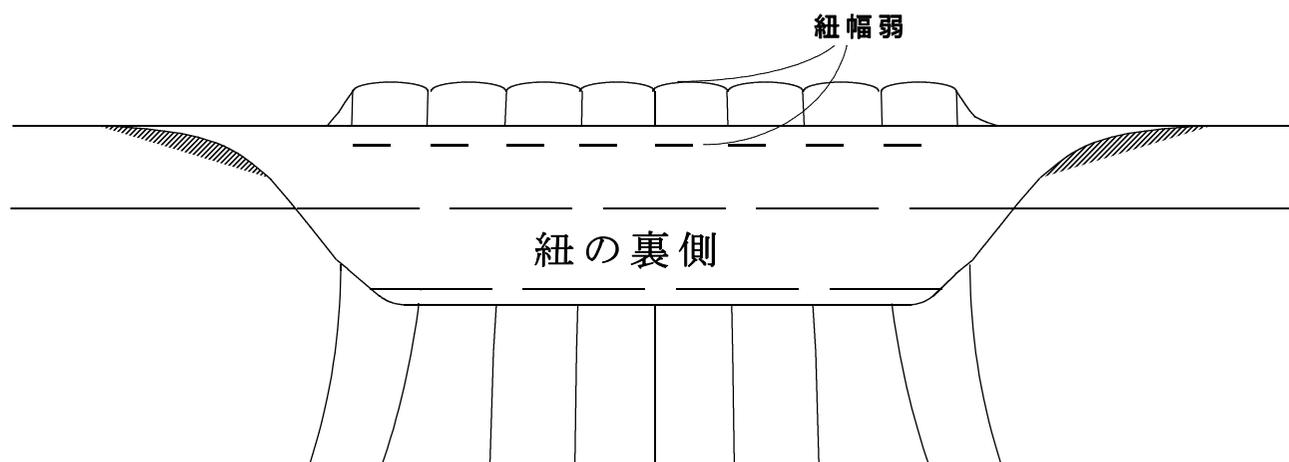


⑥ 笹ひだ折り (その5)

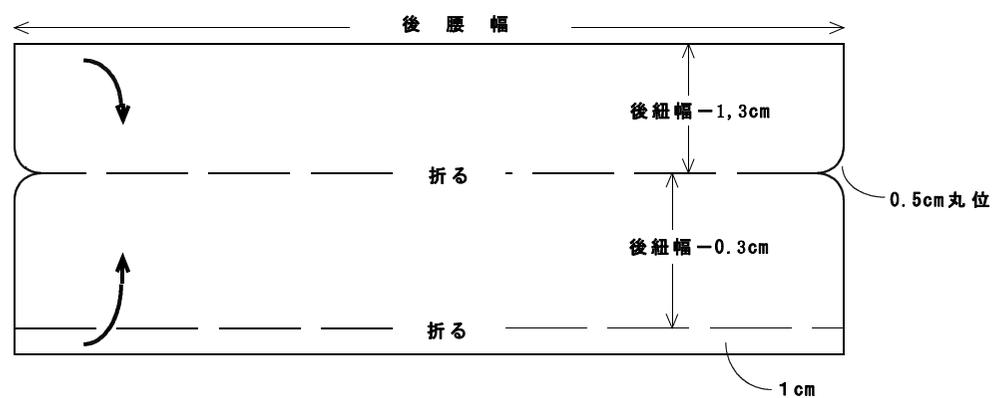


8、紐付け

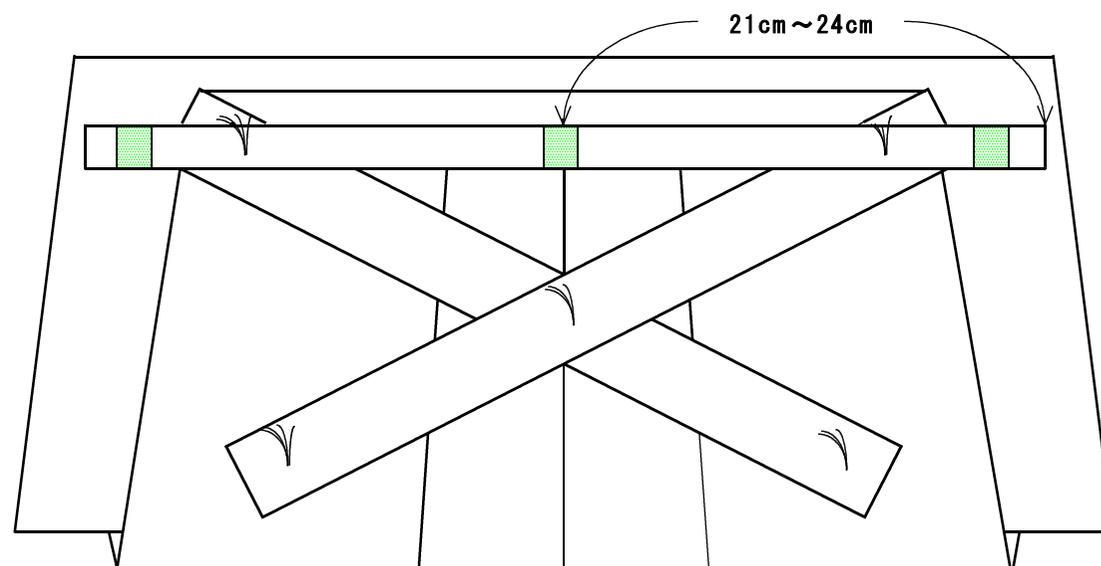
- (1) 前紐付けは2本糸（木綿糸太口）で、ひだのところを重点にかえし針をしながら付ける。
 身頃の縫込みは、図のように紐幅よりやや控えて折り返し、木綿糸でしっかりとじ、紐をくけ付ける。（縫代は外に出ていてよい）



腰板



- (2) 後紐を付ける。（綿糸二重にて半返し縫い）
 後紐を付けたら、上図のように厚紙で腰板を作り、とじ付ける。



- (3) 上図のようにたたみあげ、四重糸で飾りとじをし、
 前紐に三ヶ処封じ紙をつけておく。

9、裾くけ

裾くけは各自で紐下寸法を確認し、裾くけする。